

2015年6月19日

お客様各位

日興アセットマネジメント株式会社

「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」  
2014年6月～2015年5月の運用状況と今後の見通しについて

平素は弊社投資信託に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドは相対的に利回りの高い、新興国通貨建ての世界銀行債券に投資を行なうファンドです。高い金利収入と為替の値上がり益の獲得をめざしつつ、信用力の高い世界銀行債券に投資を行なうことで、信用リスクの低減をめざします。また、新興国通貨は為替変動リスクが先進国通貨と比較して大きくなる傾向にあるため、幅広く分散投資を行ない、為替変動リスクの低減をめざします。

今回、日興アセットマネジメントでは、2014年6月から2015年5月までの当ファンドの運用状況と今後の見通しについてのレポートを作成いたしましたので、ご一読いただければ幸いです。

なお、2015年5月末時点では、以下の国の通貨建ての世界銀行債券に投資を行なっています。

投資通貨の国 (2015年5月末時点)



※上記の投資通貨の国は2015年5月末時点のものであり、将来変更される場合があります。

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド／愛称:ワールドサポーター」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

運用概況

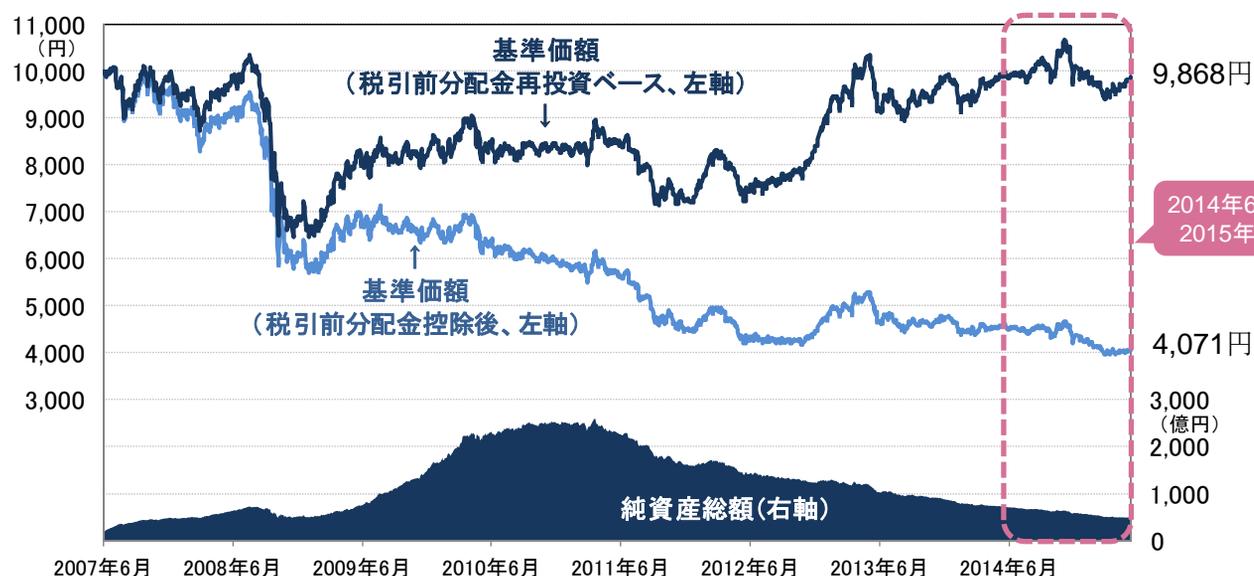
World  
Supporter

直近1年間(2014年6月～2015年5月)の金融市場は、米国の量的緩和策(QE)の行方などに対する思惑により、不安定な動きとなりました。

2014年夏以降はウクライナやイラクにおける地政学リスクの高まりや、エボラ出血熱への懸念などから、多くの新興国の通貨が下落圧力にさらされましたが、10月末に日銀による追加金融緩和が発表されると円安が大きく進行し、新興国通貨も対円で上昇しました。しかし11月以降は原油などの資源価格の下落が勢いを増したことから、資源国通貨は軟調な動きとなる一方で、原油などの資源を輸入に頼る国ではインフレの抑制や経常収支の改善など、プラスの影響がみられました。

こうしたなか、直近1年間の基準価額の騰落率は▲0.12%(税引前分配金再投資ベース)とほぼ横ばいの推移となりました。

基準価額と純資産総額の推移 (2007年6月21日(設定日)～2015年5月29日)



	2014年5月末	2015年5月末		2014年5月末～ 2015年5月末
基準価額	4,555円	4,071円	騰落率	▲0.12%

※ 基準価額は税引前分配金控除後の値です。  
 ※ 騰落率は税引前分配金再投資ベースの値をもとに算出しています。

※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。  
 ※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド/愛称:ワールドサポーター」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ポートフォリオの状況

World  
Supporter

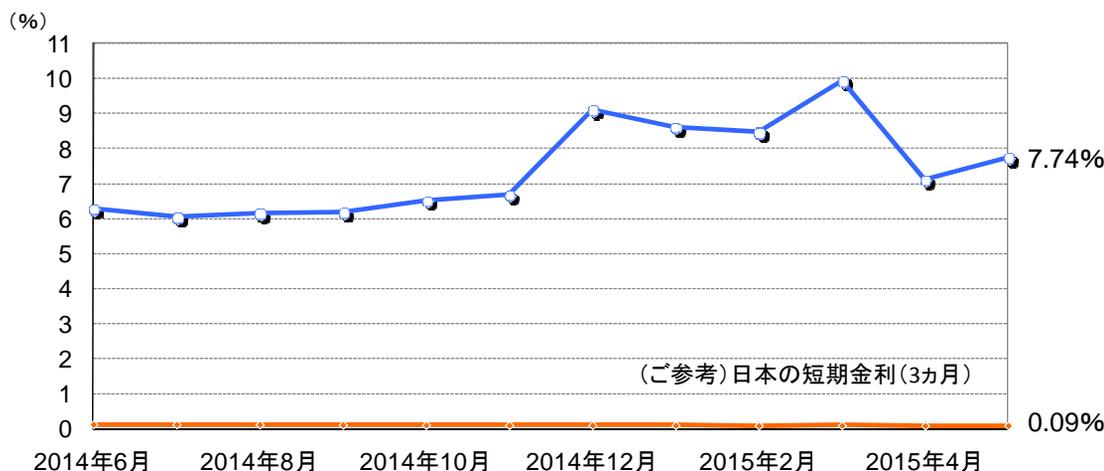
「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」\*のポートフォリオ特性値  
(2015年5月末現在)

\* 「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」は当ファンドの主要投資対象ファンドです。

ポートフォリオの最終利回り	7.74%
ポートフォリオの直接利回り	5.13%
ポートフォリオの平均残存年数	1.06年

- ※ 利回りは、個別債券および短期金融資産について加重平均したものです。
- ※ 最終利回りは、債券および短期金融資産を満期まで保有した場合の利回りです。
- ※ 利回りは将来得られる期待利回りを示すものではありません。

「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」の最終利回り推移  
(2014年6月末～2015年5月末)



※ 上記は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」の運用会社である、日興アセットマネジメントヨーロッパ リミテッドからの情報をもとに作成しています。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

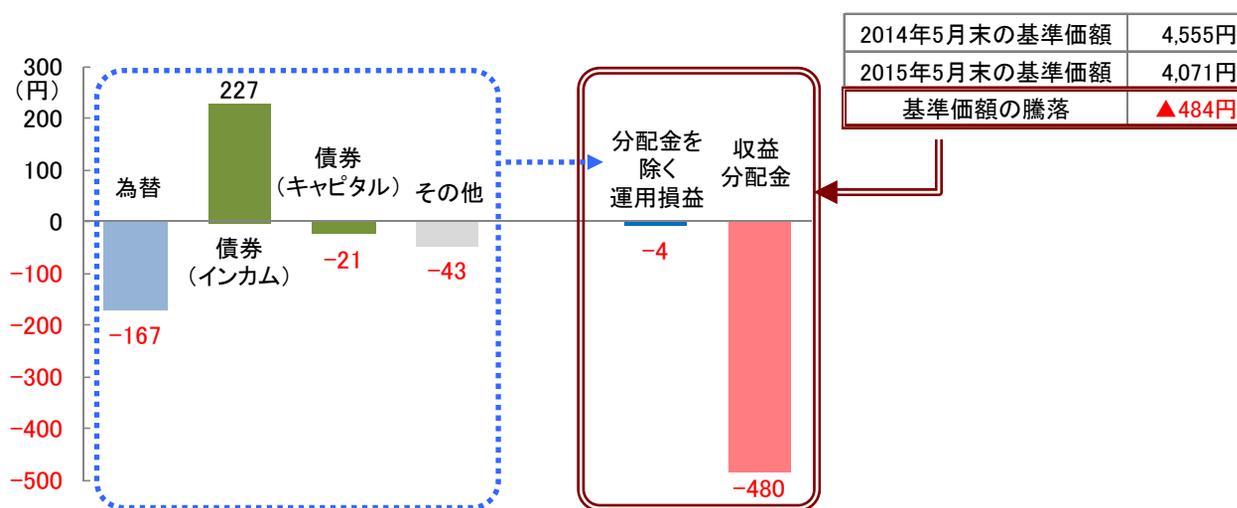
当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド／愛称：ワールドサポーター」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## 基準価額騰落の要因分解

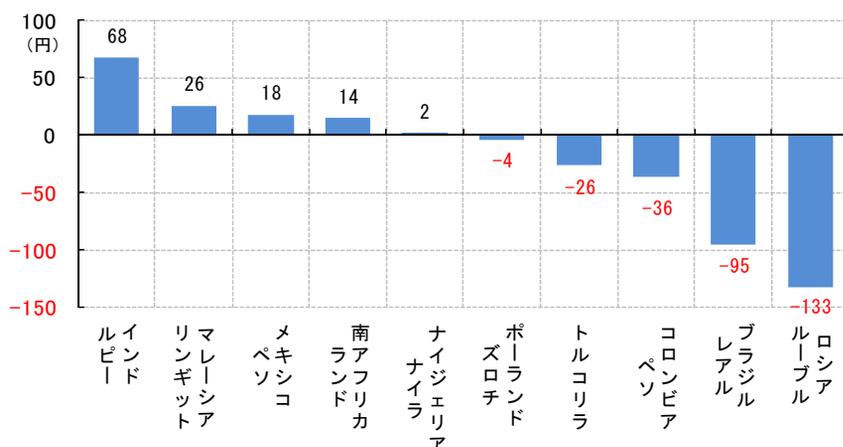
World  
Supporter

直近1年間(2014年6月～2015年5月)においては、相対的に高い新興国債券のインカム収益が基準価額を下支えする一方で、ロシアルーブルやブラジルレアルなどの大幅な下落から為替収益がマイナスとなり、運用損益は▲4円となりました。

### 基準価額騰落の要因分解 (2014年5月末～2015年5月末)



### 為替要因(通貨別)(2014年5月末～2015年5月末)



※ 上記要因分解は概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご参照ください。また、四捨五入の関係で合計が一致しないことがあります。

※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## 投資通貨について

World  
Supporter

直近1年間(2014年6月～2015年5月)においては、ウクライナ問題や原油価格の大幅な下落などからロシアの比率を徐々に引き下げ、足元での組入はありません。

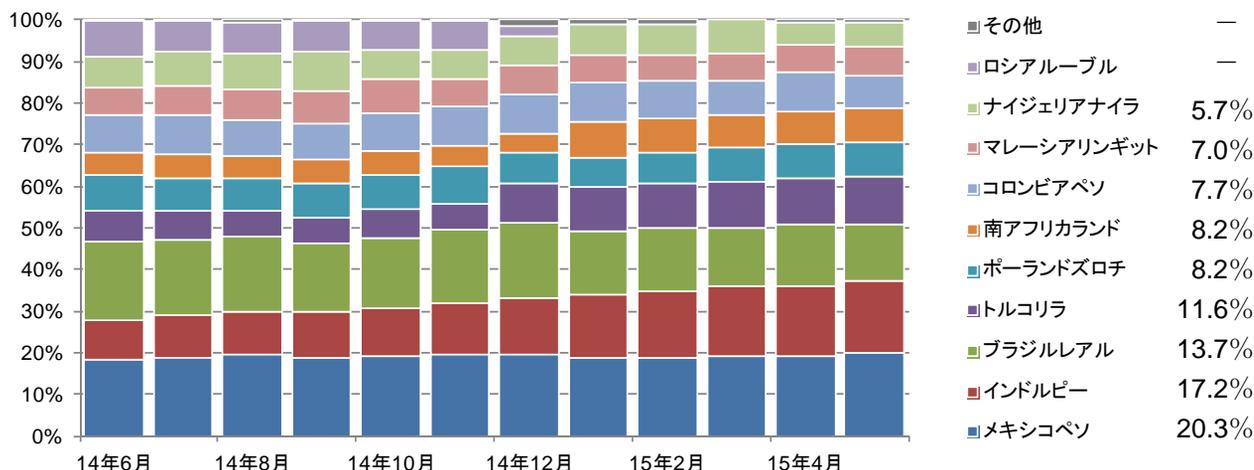
原油価格の下落に対しては、産油国であるナイジェリアやマレーシアの比率を引き下げるとともに、原油価格の下落の恩恵を受けると考えられるインドやトルコ、南アフリカの比率を引き上げました。

インドについては、原油価格の下落による恩恵が大きいと予想されるとともに、新政府による構造改革の進展などから強気な見方をしており、足元ではメキシコに次ぐ組入比率としています。

2014年6月時点で最も組入比率の高かったブラジルは、第2次ルセフ政権における経済閣僚人事への期待から、一時組入比率の引き上げを行ないましたが、2015年1月にかけてブラジルレアルは大きく調整しました。その後も通貨の変動性が高い状態にあったことから、比率を引き下げています。

外国通貨別構成比の推移 (2014年6月末～2015年5月末)

(2015年5月末現在)



※ 上記は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」の運用会社である、日興アセットマネジメントヨーロッパ リミテッドからの情報をもとに作成しています。

※ 上記は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託の通貨別構成比率であり、外国投資信託の純資産総額に対する比率です。

※ その他や端数処理の関係で合計が100%とならない場合があります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド／愛称：ワールドサポーター」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## 主な投資通貨国の状況について（2015年5月末現在）

World  
Supporterメキシコ

メキシコはGDPの約30%が輸出で占められており、製造業、とりわけ自動車セクターが経済を大きく牽引しています。また、輸出の約80%が米国向けであり、米国の景気回復の恩恵を大きく受ける国と言えます。製造業セクターにおける設備投資は近年伸び続けており、自動車の輸出は2015年4月には前年同月比15.4%の増加となりました。今後も自動車生産は順調に伸びていく見込みです。

製造業セクターにおける雇用の増加はメキシコ経済の他の分野にも波及し始めており、経済のモメンタムは改善傾向にあります。また、メキシコ経済にとって重要な収入源である海外からの送金額も安定的に増加しており、今後数ヵ月のうちに、年換算で250億米ドルの水準に達することが期待されています。

メキシコペソは、原油価格の下落や米金利の先高観を背景に、対米ドルで軟調に推移していますが、米景気回復の波及効果や構造改革の進展から、為替は中期的に上昇すると見込まれます。中央銀行は米国の利上げに追随することを表明しており、米国に1-2ヵ月遅れるタイミングでの利上げが行なわれるものと想定しています。

インド

2014年5月の総選挙で勝利したモディ氏が率いる新政府は改革を公約としており、官僚の削減、物流の改善と経済における効率性の向上、社会インフラの改善など、改革の内容は多岐にわたります。

2013年5月に米国の量的緩和縮小の可能性が示唆された際、インドルピーは対米ドルで大きく下落しました。これに対し、中央銀行は3度にわたって政策金利の引き上げを行なうとともに、政府は経常赤字の削減と為替の変動性を低下させるための各種政策を導入しました。このような姿勢が市場から好感され、以後インドルピーは総じて堅調に推移しました。

インドにおける大型投資計画や経常赤字の減少を受け、足元では海外直接投資や海外送金などの形で為替市場に多くの資金が流れ込んでおり、中央銀行は積極的な為替介入を行なっています。外貨準備は既に3,500億米ドル以上も積み上がっており、これはインドの信用力の改善につながると共に、将来の為替の変動性に対する強力な緩衝材ともなり得ると考えます。

(次ページに続きます)

上記は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」の運用会社である日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくは今後の運用方針等について、運用担当者の方針あるいは考え方を記載したものです。今後の運用方針は変更される場合があり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、将来の運用成果等を約束するものでもありません。

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド／愛称：ワールドサポーター」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

(前ページより続きます)


 ブラジル

ルセフ政権は1期目において、構造改革の進展がみられず、インフレの進行や景気低迷をもたらしたことから、2014年10月の大統領選挙前からブラジルの金融市場は変動性の高い状況にありましたが、ルセフ大統領の再選が決定すると、ファンダメンタルズの脆弱性に対する懸念が高まり、ブラジルレアルは下落基調となりました。さらに2015年1月にかけては、国有石油会社の汚職問題などからブラジルレアルは調整を深めました。

こうしたなか、中央銀行はインフレ抑制のため、2014年10月以降、連続して利上げを行なっています。また、レヴィ財務相は財政再建を最優先し、積極的に増税や歳出削減に着手しています。このような、景気を犠牲にしてもインフレの抑制や財政の健全化を重視する姿勢は、今後も市場での評価を高めるものと考えられます。

短期的には、経済の弱さが市場心理を悪化させると考えられるものの、ブラジルの状況は急速に改善しており、期待通り来年にかけてインフレ率が低下すれば、通貨の変動は落ち着き、上昇余地が生まれると考えます。


 トルコ

トルコは経常赤字の大きさなどから市場の脆弱性が指摘されてきましたが、近年経常収支は大きく改善され、さらに主要な輸入品である原油の大幅な価格下落により、今後も貿易収支の改善が期待されます。また、トルコは欧州地域への輸出が大半を占めることから、欧州経済の回復は同国の経済を下支えするとみられます。

6月7日に実施された総選挙で、与党の公正発展党(AKP)の議席が2002年の政権発足以来、初めて過半数割れとなり、政権運営見通しの不透明感などからトルコリラは大きく下落しました。この選挙結果により、エルドアン大統領の指導力は低下するとみられるものの、中央銀行の自由度が高まるなどプラスの側面もあると考えられます。今後、AKPは野党との連立交渉を行なうとみられますが、もし期限内に連立合意がなされない場合、再選挙が実施される可能性もあります。


 ポーランド

ポーランドは、堅調な経済や企業に対する積極的な優遇政策などから、海外投資家にとって魅力のある投資先であり、当ファンドの欧州地域への投資においても中核をなしています。2015年1-3月期のGDP成長率は3.6%と拡大しており、主に国内消費、投資、欧州経済の回復を受けた海外需要などが成長を押し上げています。同様に欧州経済の回復を受けた輸出の増加から、経常赤字も大きく改善しています。

インフレ率はマイナスの水準で推移しているものの、足元では最悪期を脱しており、また原油価格が上昇に転じていることなどから、今後はプラス領域に戻るものと予想されます。

通貨ズロチの変動性は相対的に低く、足元においては対ユーロで上昇傾向にあります。

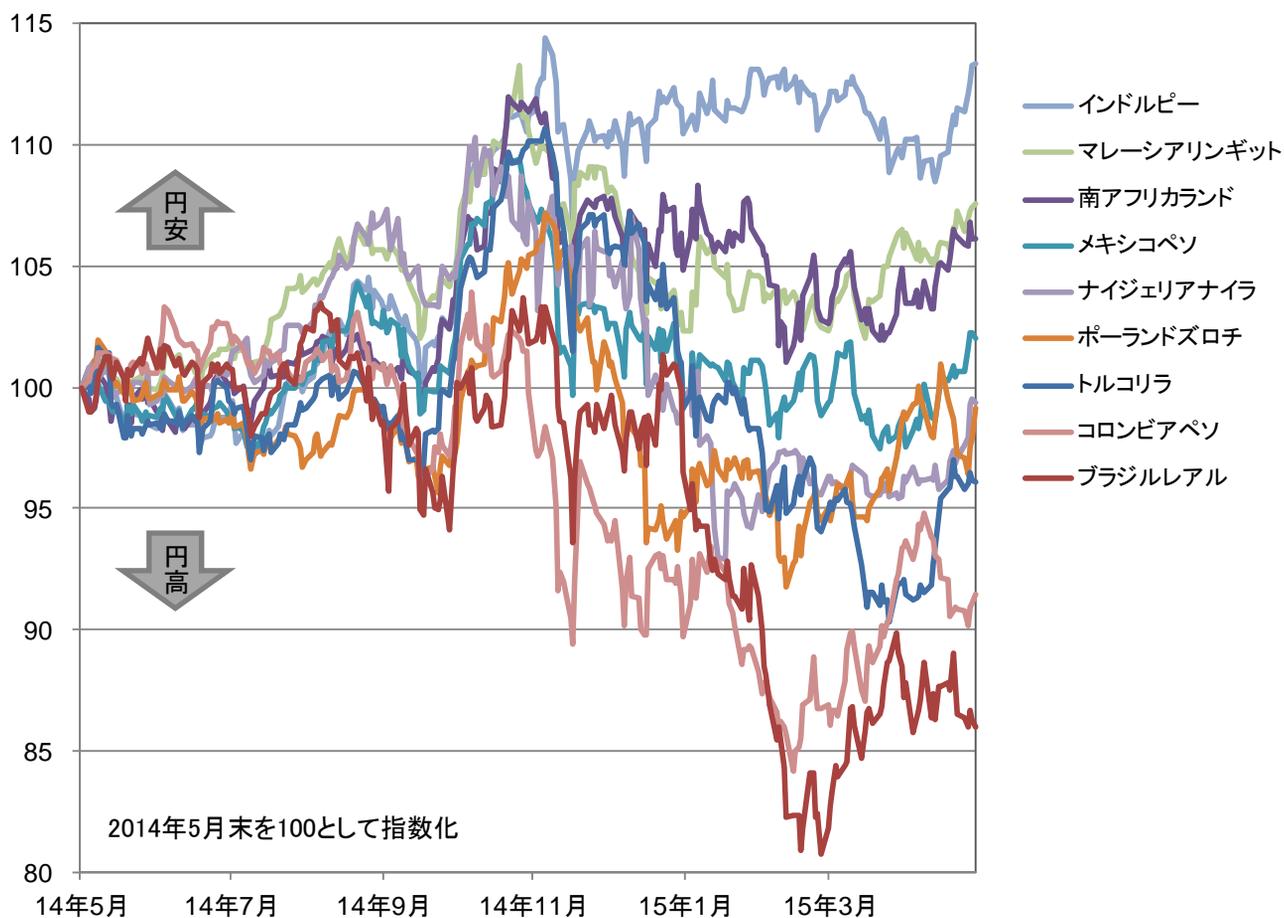
上記は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」の運用会社である日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくは今後の運用方針等について、運用担当者の方針あるいは考え方等を記載したものです。今後の運用方針は変更される場合があり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、将来の運用成果等を約束するものでもありません。

当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

(ご参考) 為替相場の推移

World  
Supporter

投資通貨の為替相場(対円レート)の推移 (2014年5月末~2015年5月末)



- ※ 上記グラフは、2015年5月末時点における当ファンドの投資通貨の為替相場(対円レート)の推移を示しています。
- ※ 上記は過去のものであり、掲載通貨の将来の組入れを約束するものでも、当該通貨を推奨するものでもなく、また将来の運用成果等を約束するものではありません。
- ※ 信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド／愛称：ワールドサポーター」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## 今後の見通しについて

World  
Supporter

### 新興国経済の見通しはまだら模様

インドなど一部の国では経済成長が予想を上回るペースで加速していますが、新興国市場全体では、世界経済の成長の弱さや米国の利上げといった、新興国を取り巻く不確かな状況に左右される展開も予想されます。

中国では、経済成長の減速感が強まっています。しかしながら、政府はこうした状況に対応するため、経済の活性化に向けた大規模な景気刺激策を実施しており、これによって今年後半には景気低迷がある程度抑制されるとみえています。

また、ブラジルとロシアの両国は景気後退局面に入ったとみられます。両国の経済規模は非常に大きいため、世界経済全体の成長にマイナスの影響を与えていますが、このような状況は今年前半の市場に既に織り込まれていると考えており、特にブラジルでは、政府が中長期的にプラスとなるような厳しい改革を導入していることから、最終的にはブラジルのよりよい見通しにつながるものと考えています。

### 米国の早期利上げ観測は一進一退

米国経済に対する期待が低下傾向にあるなか、2015年1-3月期のGDP成長率は▲0.7%となり、OECD(経済協力開発機構)は米国の2015年経済成長率を、3.1%から2.0%に下方修正しました。

こうした年前半の軟調な経済指標から、米国の利上げ開始時期に関する市場の予想は12月以降へと後ろ倒しとなりました。しかしその後の堅調な経済指標を受け、足元では再び早期利上げ観測が高まるなど、利上げ開始時期を巡る思惑は、米国経済指標の強弱に左右される展開が続いています。

なお、米国の利上げは新興国にとって一時的にマイナスの影響を与えるとみられますが、金利正常化は米国経済の回復・拡大に基づくものであり、その恩恵は新興国経済にも輸出の拡大などの形で波及することが期待されます。

### 足元の新興国通貨は割安水準

足元において、ほとんどの新興国通貨は売られすぎであると考えます。これは米国の利上げを警戒した投資家が、過度な売却を行なっていることが背景にあります。しかし現在、多くの新興国において経常収支の改善や外貨準備の積み上げなどが進んでおり、通貨の脆弱性は回復傾向にあると言えます。

先進国の金利水準が依然として低い状態にある一方で、新興国の金利水準は足元で上昇傾向にあり、先進国との金利差が拡大しています。長引く低金利の下、相対的に金利の高い新興国通貨の投資魅力は高まっているものと考えられます。

上記は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」の運用会社である日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくは今後の運用方針等について、運用担当者の見方あるいは考え方を記載したものです。今後の運用方針は変更される場合があり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、将来の運用成果等を約束するものでもありません。

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド／愛称：ワールドサポーター」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## 収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

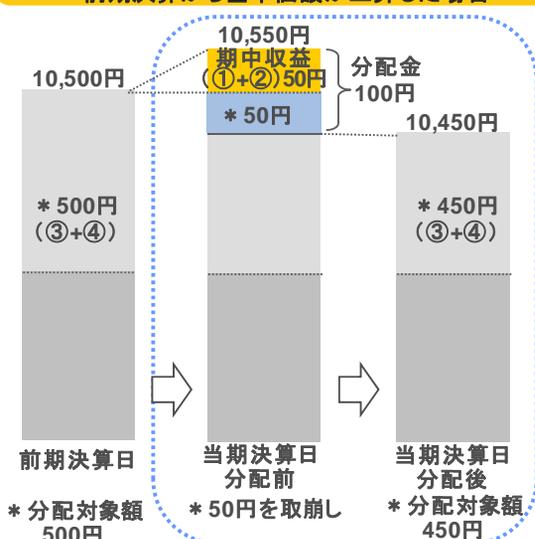
### 投資信託で分配金が支払われるイメージ



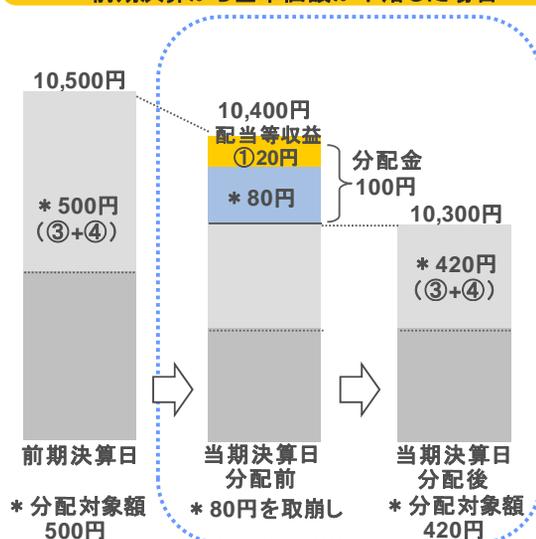
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

### 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

#### 前期決算から基準価額が上昇した場合



#### 前期決算から基準価額が下落した場合

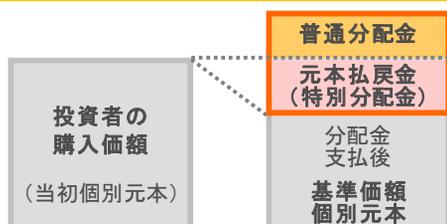


(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。

#### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



#### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

**普通分配金** : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。  
**元本払戻金 (特別分配金)** : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

## ■お申込みに際しての留意事項

## 「リスク情報」

- 投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様には帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。
- 当ファンドは、主に債券を実質的な投資対象としますので、債券の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

※投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

## 【為替変動リスク】

- 外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- 新興国通貨建ての債券は、新興国の通貨の為替変動に影響を受けます。新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

## 【カントリー・リスク】

- 投資対象となる債券は新興国通貨建てで起債されたものであるため、新興国における非常事態など(金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など)を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- 一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。

## 【価格変動リスク】

- 公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。

## 【流動性リスク】

- 市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- 新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

(次ページに続く)

(前ページより続く)

#### 【信用リスク】

- 公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。

※ ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

#### 「その他の留意事項」

- 当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

## ■お申込メモ

- 商品分類 : 追加型投信／海外／債券
- ご購入単位 : 購入単位につきましては、販売会社ないしは委託会社の照会先にお問い合わせください。
- ご購入価額 : 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
- ご購入不可日 : 購入申込日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、購入のお申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 信託期間 : 無期限（2007年6月21日設定）
- 決算日 : 毎月12日（休業日の場合は翌営業日）
- 収益分配 : 毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。  
※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- ご換金価額 : 換金請求受付日の翌営業日の基準価額
- ご換金不可日 : 換金請求日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、換金請求の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- ご換金代金のお支払い : 原則として、換金請求受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
- 課税関係 : 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。  
※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。  
※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。  
※配当控除の適用はありません。  
※益金不算入制度は適用されません。

## ■委託会社、その他関係法人

- 委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、  
日本証券業協会
- 受託会社 : 野村信託銀行株式会社
- 販売会社 : 販売会社については、下記にお問い合わせください。  
日興アセットマネジメント株式会社  
〔ホームページ〕 <http://www.nikkoam.com/>  
〔コールセンター〕 0120-25-1404  
(午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

## ■手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料 : 購入時手数料率は、3.24% (税抜3.0%) を上限として販売会社が定める率とします。  
※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。

《ご参考》

(金額指定で購入する場合)

購入金額に購入時手数料を加えた合計額が指定金額 (お支払いいただく金額) となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定で購入する場合、指定金額の100万円の中から購入時手数料 (税込) をいただきますので、100万円全額が当ファンドの購入金額とはなりません。

(口数指定で購入する場合)

例えば、基準価額10,000円のときに、購入時手数料率3.24% (税込) で、100万口ご購入いただく場合は、次のように計算します。

購入金額 = (10,000円 / 1万口) × 100万口 = 100万円、

購入時手数料 = 購入金額 (100万円) × 3.24% (税込) = 32,400円となり、購入金額に購入時手数料を加えた合計額103万2,400円をお支払いいただくこととなります。

換金手数料 : ありません。

信託財産留保額 : ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく (ファンドから支払われる) 費用>

信託報酬 : 純資産総額に対して年率1.295% (税抜1.223%) 程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。

信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率 [年率0.972% (税抜0.90%) ]、投資対象となるケイマン籍円建外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンドクラスA」の組入りに係る信託報酬率 [年率0.323%程度] となります。このうち、当該外国投資信託の信託報酬率は、純資産総額や為替相場によって変動します。それに伴ない、実質的な信託報酬率も変動します。詳しくは、投資信託説明書 (交付目論見書) をご覧ください。

その他費用 : 目論見書などの作成・交付にかかる費用および監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。

組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。

※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書 (交付目論見書) をご覧ください。

## 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社愛知銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第12号	○		
株式会社青森銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第1号	○		
株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第2号	○		
株式会社阿波銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第1号	○		
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○		
株式会社池田泉州銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第6号	○	○	
池田泉州T T証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第370号	○		
株式会社岩手銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第3号	○		
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○		
S M B C日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○
S M B Cフレンド証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第40号	○		○
株式会社S B I証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○
株式会社大分銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第1号	○		
オーストラリア・アンド・ニューゼaland・バンキング・グループ・リミテッド(銀行)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第622号	○		
クレディ・スイス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第66号	○	○	○
株式会社佐賀共栄銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第10号	○		
株式会社佐賀銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第1号	○	○	
株式会社四国銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第3号	○		
株式会社七十七銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第5号	○	○	
株式会社ジャパネット銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○	○	
株式会社十六銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第7号	○	○	
株式会社荘内銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第6号	○		
株式会社常陽銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第45号	○	○	
ソニー銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第578号	○	○	
株式会社第四銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第47号	○	○	
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○		
株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第39号	○	○	
ちばぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第114号	○		
株式会社東京都民銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第37号	○	○	
株式会社徳島銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第10号	○		
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○	○	
株式会社長崎銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第11号	○		
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第6号	○	○	
西日本シティT T証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号	○		
日産センチュリー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号	○	○	
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○
株式会社八十二銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第49号	○	○	
八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第21号	○	○	
浜銀T T証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1977号	○		
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第10号	○	○	
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第134号	○		
株式会社百十四銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第5号	○	○	
株式会社広島銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第5号	○	○	
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○		
株式会社福島銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第18号	○		
株式会社北陸銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第3号	○	○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○
株式会社みずほ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第6号	○		○
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第54号	○	○	○
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第181号	○	○	
株式会社南日本銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第8号	○		
株式会社宮崎銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第5号	○		
株式会社宮崎太陽銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第10号	○		
株式会社武蔵野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第38号	○		
株式会社横浜銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第36号	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	

(50音順、当資料作成日現在)

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド／愛称：ワールドサポーター」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。